

当院検査部にて臨床検査を受けられた患者の皆様へ

徳島大学病院検査部では、日常診療の質や臨床検査の質を向上させることを目的として、新たな臨床検査法の開発や従来法の改良、日常診療の補助となる早期診断や病態スクリーニング法の確立、病態形成機序の解明など、さまざまな研究を行っております。この研究活動に必要となるのが、臨床検査を終了した残余検体および検査情報の再利用です。残余検体および検査情報の再利用に当たっては「臨床検査を終了した検体の業務、教育、研究のための使用について－日本臨床検査医学会の見解－」を遵守し、徳島大学倫理委員会にて承認のもとに行っております。

これまでに、残余検体や検査情報を用いた研究から多くの知見が得られ、これにより、臨床検査法は大きく進歩し、新たな検査法の有用性が確立され、臨床検査医学の発展と日常診療における質の向上に繋がってきました。当検査部では、承認された研究計画に基づき、臨床検査を終了した残余検体および検査情報の一部を再利用することにより、臨床検査法の改善・新たな検査法の確立を行い、医学の発展に寄与し、当院を受診し臨床検査を受けられる全ての患者さんに、より質の高い診療および臨床検査をフィードバックできるよう貢献していきたいと考えています。

本研究は、日常診療における臨床検査終了後の残余検体および投薬・診療情報などを含めた検査情報を使用するため、研究目的の新たな検体採取や採血、診療外の余分な採血をお願いすることはありませんので、患者さん自身の生命・健康に影響を及ぼすことはありません。また、氏名・生年月日・住所・電話番号・ID番号などの個人情報はずべて匿名化して使用しますので、個人情報が漏洩することはありません。研究成果については、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際においても個人の特定が可能となる情報はすべて削除または匿名化致します。

なお、臨床検査を終了した残余検体および検査結果情報の利用についてご承諾いただけない患者さんは、お手数ですが、採血時に当検査部の採血担当者までお申し出ください。もし本研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を被ることはありません。

臨床検査医学の発展と日常診療の質の向上のため皆さまのご協力を宜しくお願い致します。

徳島大学病院 検査部

検査部長 松岡賢市

臨床検査技師長 中尾隆之